

【重要】 以下の条件にご同意の上、本評価キットをご使用ください。

- ・本評価キットに関するあらゆる知的財産権は弊社に帰属します。
- ・弊社は、本評価キットについて、明示又は黙示を問わず一切の保証を致しません。

特に、商品性、特定の目的に対する適合性、バグやエラーなどの不具合が発生しないこと及び第三者の権利を侵害しない旨の保証については、一切致しません。

- ・弊社は、本評価キットの使用又は使用不能に起因して発生した直接損害、間接損害、特別損害（予見可能性の有無にかかわらず。）もしくは派生的損害、データ、プログラムその他無形財産に対する損害、使用利益及び得べかりし利益の損失等を含むいかなる損害についても一切責任を負いません。
- ・弊社は本評価キットについて、バージョンアップ、アップデート、改良又はその他のサポートを行う義務を負いません。
- ・本評価キットの営利目的での利用を禁止します。

<ムラタ「Infrared Sensor Novelty Software」取扱説明書>

【内容物】

- ・焦電型赤外線センサ USB モジュール（本評価キット）
- ・取扱説明書（本書）

【本評価キットでできること】

注：OS は Windows®7 でご使用ください。

人感検知機能：

- ・人の動きを検知して、スクリーンセーバーやスリープ状態を解除します（ソフトのインストール不要）。
- ・指定された時間、人の動きを検知できない場合、
 - モニタの電源を OFF
 - パスワードロック
 - スリープ状態への移行などの節電機能を実行します（ソフトのインストール必要）。

ハンドモーション検知機能：

- ・手の動きを検知して、予め設定されたキー操作を実行できます（ソフトのインストール必要）。
- 手はモジュールの真上、基板の「muRata」マークを横切るように平行な方向に振ってください。

【お使いになる前に】

・全ての機能を使用する場合、ムラタ Web サイトよりソフトをダウンロードしてインストールしてください。ダウンロードファイルをエクスプローラで開き、下記ファイルを実行してください。実行には管理者権限が必要です。

(32 ビット版 Windows®7 の場合) → Install32.bat を実行してください。

(64 ビット版 Windows®7 の場合) → Install64.bat を実行してください。

・ソフトのインストール完了後、USB モジュールを PC に接続してください。

【使用方法】

・スタートメニューの「すべてのプログラム」－「Human Presence Sensor」フォルダ内の「Human Presence Sensor」アイコンで、設定ソフトが起動します。

・設定ソフトを起動すると、下記画面が表示されます。それぞれの項目を設定し、設定ボタンを押してください。画面の左半分が人感検知機能の設定、右半分がハンドモーション検知機能の設定になります。



(人感検知設定項目)

・離席検知感度：

離席検知判定の感度を設定します。“高い”ほど、より小さな動きも検知します。

・着席検知感度：

着席検知判定の感度を設定します。“高い”ほど、より小さな動きも検知します。

・モニタ OFF までの時間（分）：

離席を検知してから、モニタを OFF するまでの時間を入力してください。

この機能を使用しない場合は、先頭のチェックを OFF にしてください。

・パスワードロックまでの時間（分）：

離席を検知してから、パスワードロックするまでの時間を入力してください。

この機能を使用しない場合は、先頭のチェックを OFF にしてください。

- ・スリープまでの時間（分）：

離席を検知してから、PC をスリープ（スタンバイ）させるまでの時間を入力してください。

この機能を使用しない場合は、先頭のチェックを OFF にしてください。

（ハンドモーション検知設定項目）

- ・「ハンドモーション検知有効」チェックボックス：

この機能を使用しない場合は、先頭のチェックを OFF にしてください。

- ・検知感度：

センサの感度設定を行います。ハンドモーションを検知すると、スライダー右側に矢印が表示されます。手を動かしながら感度調整してください。手を振る方向に応じて、左右 2 種類の矢印が表示されますが、本ソフトでは区別しません。

- ・キー割り当て：

ハンドモーション検知時に実行されるキー操作を、プルダウンメニューより選択してください。

（共通項目）

- ・設定を反映するには、**設定** ボタンを押します。また、このボタンを押すと現在の設定状態がファイルに保存されます。保存されたファイルは、次回起動時に自動で読み込まれ、設定状態を再現します。

- ・設定画面を非表示にするには、**非表示** ボタンを押します。

・非表示状態からの操作は、タスクバーのアイコンで行います。「赤外線センサ設定」のアイコンを右クリックし、設定を行う場合は「赤外線センサの設定」、終了する場合は「終了」を押します。

- ・本ソフトを終了する場合は、**終了** ボタンを押します。

【アンインストール】

・コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をクリックし、「HumanPresenceSensor」と「Windows Driver Package – Murata Manufacturing Co., Ltd. (WUDFRd) Sensor (02/15/2011 1.0.0.1)」をそれぞれ実行してください。

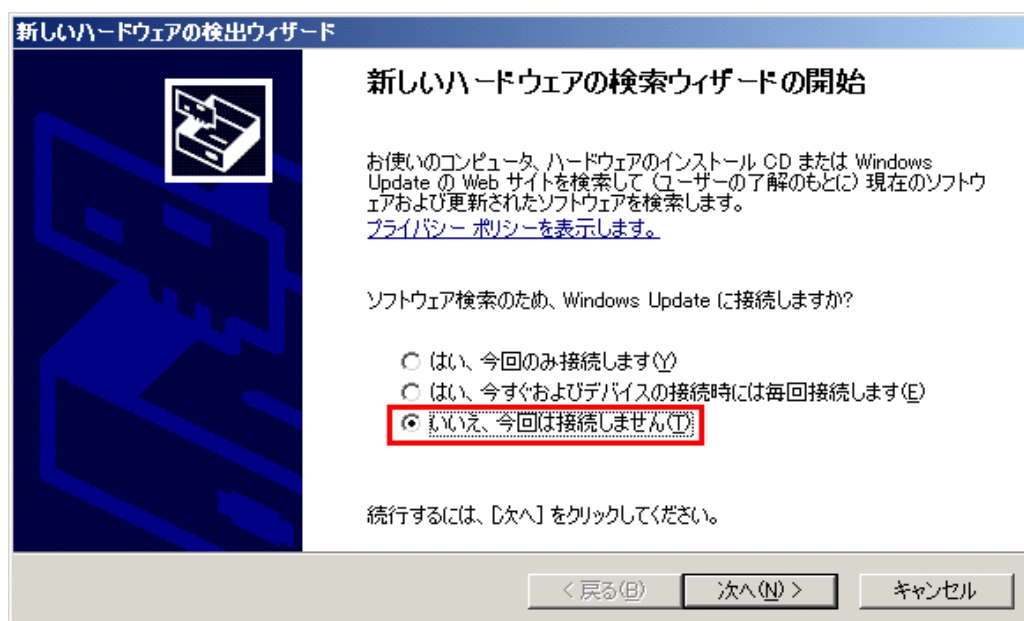
【参考】 Windows®7 以外の OS での動作

- ・人の動きを検知して、スクリーンセーバーやスリープ状態を解除します。

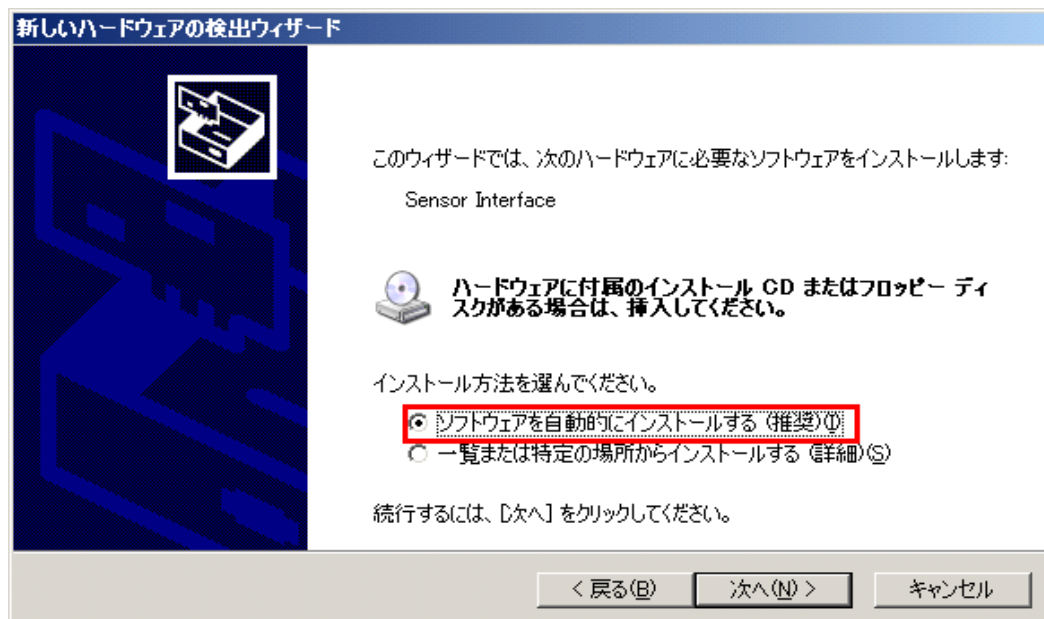
【お使いになる前に】

- ・USB モジュールを PC に接続すると、“新しいハードウェアの検出ウィザード”が開始されます。以下の手順で、ドライバのインストールをキャンセルして下さい。

- ① “いいえ、今回は接続しません”を選択して、「次へ」をクリックしてください。

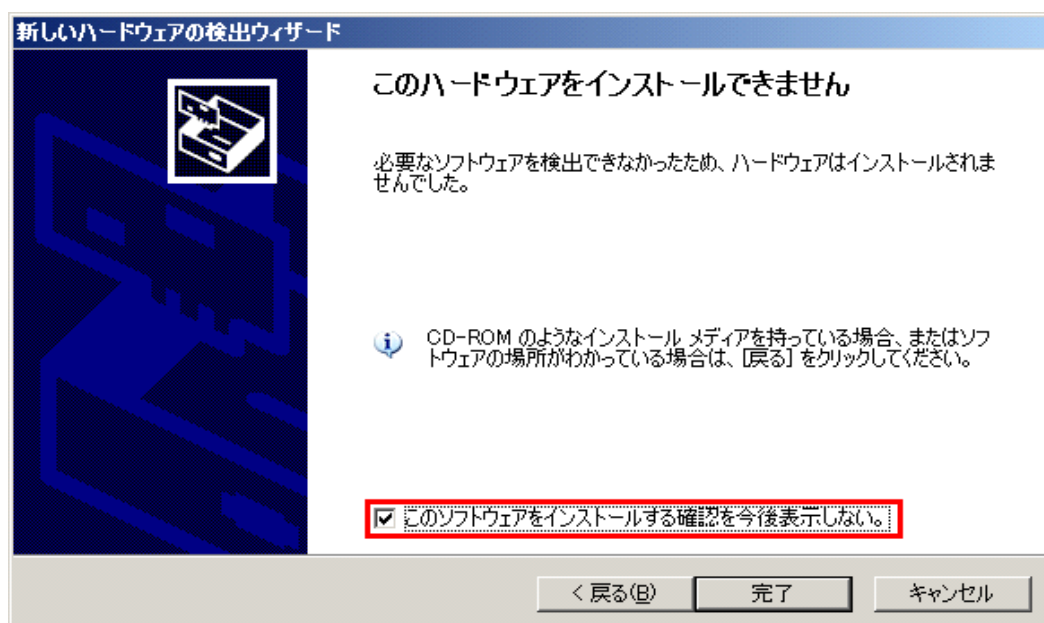


- ② “ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）”を選択して、「次へ」をクリックしてください。



- ③ ドライバは見つからず、次の画面が表示されます。

“このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない。”にチェックを入れ、完了をクリックしてください。

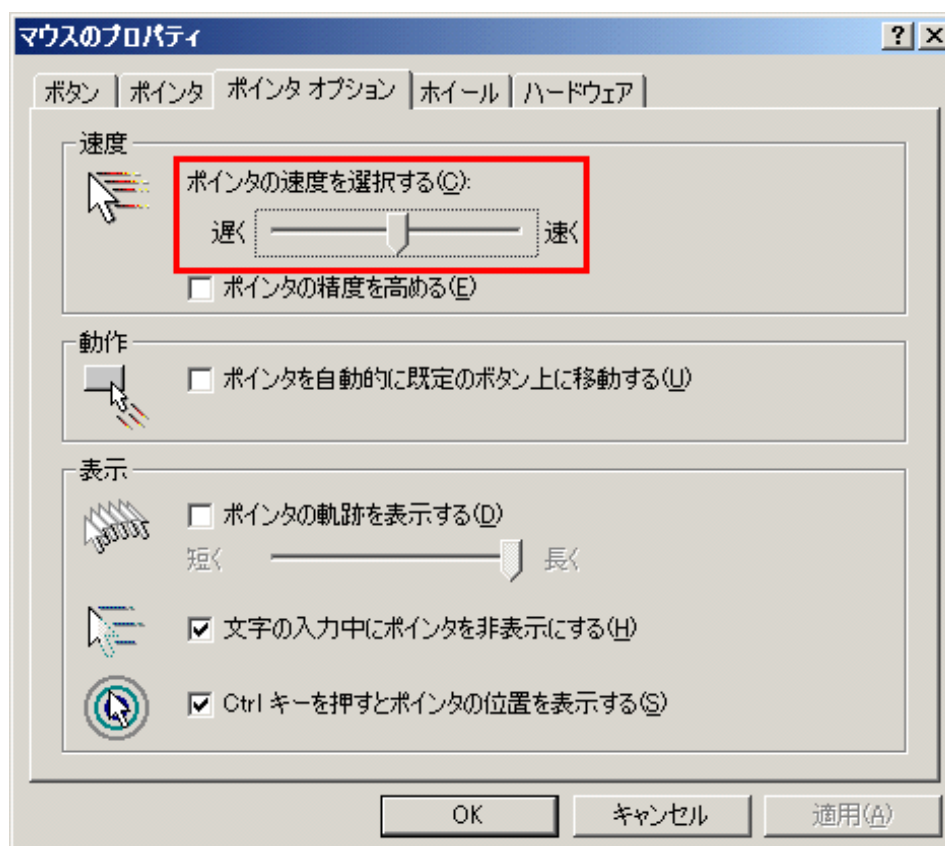


注：デバイスマネージャ上に現れる“Sensor Interface”は、Windows®7 でのみ使用可能なセンサデバイスです。Windows®7 以外の OS では HID として認識されるデバイスを使用し、こちらは使用しません。

【使用方法（Windows®7 以外の OS の場合）】

- ・スクリーンセーバー及びスタンバイ（スリープ）状態を正しく設定してください。設定方法は PC 付属のマニュアルや、OS 付属のオンラインヘルプ“ヘルプとサポート”などを参照してください。
- ・スクリーンセーバーやスタンバイが動作中に人の動きを感知すると、これらの状態を解除します。

※ 解除されない場合は、マウスポインタの速度設定を確認してください。極端に遅い場合、動作しないことがあります。中間以上の速度が推奨です。



※ Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。